

2011 賀川記念館 since 1909

KAGAWA MEMORIAL HALL

総合研究所 《講座》《研修》《研究》 公開プログラム

リーダーシップ養成

東日本大震災をどのように受け止めたらよいのでしょうか。また、地域にどのように向き合うことができるのでしょうか。

私たちに与えられたさまざまな課題を学ぶプログラムを用意いたしました。ともに学び、ともに語り合い、ともに生きるために、賀川記念館と一緒に歩みませんか？

暮らしと火水木風土



現代社会とキリスト教

地域とつながる

賀川と差別

賀川豊彦から何を学ぶか ～賀川豊彦と部落差別～

賀川記念館の法人であるイエス団は理念委員会を設け、法人の理念形成に努めてきました。そして賀川豊彦献身 100 年の 2009 年以下のようにミッションステートメントを宣言しました。

イエス団ミッションステートメント 2009

わたしたちイエス団の実践は、1909 年 12 月 24 日の賀川豊彦の献身に始まる。そして、イエスの愛に倣い、互いに仕えあい、社会悪と闘い、新しい社会を目指して多くの協働者とともに今日まで歩み続けてきた。この歴史を検証し、働きを引き継ぎ、今、わたしたちはイエスに倣って生きる。

わたしたちは、いのちが大切にされる社会をつくりだす
わたしたちは、自然が大切にされる社会をつくりだす
わたしたちは、隣り人と共に生きる社会をつくりだす
わたしたちは、違いを認め合える社会をつくりだす
わたしたちは、平和をつくりだす

イエス団は理念委員会のもと、賀川豊彦献身 100 年にむけて、賀川豊彦の生涯にわたる活動や考え方を学習し、今後のイエス団の歩むべき方向などを考えてきました。それらの内容をさらに充実させ、併せてミッションステートメント 2009 の理解をも深めるため、賀川豊彦著作の「貧民心理の研究」に象徴される彼の被差別部落に対する誤った認識と、それに基づく表現・理論展開の問題性についてともに考え、実践に結びつけていきたいと思っています。

今回の公開研修では、日本基督教団部落解放センター活動委員の小柳伸顕さんをお招きし、「賀川豊彦から何を学ぶか～賀川豊彦と部落差別～」というテーマで、賀川豊彦の問いかける課題や私たちに問われている課題を探っていきければと考えています。

お忙しくされていることとは思いますが、是非ともお集まりいただき、ともに学びあいたいと願っております。

講師 **小柳 伸顕** さん

日本基督教団部落解放センター活動委員
釜ヶ崎キリスト教協友会

11/26

2011 年 11 月 26 日(土) 15:00～17:00

会場：賀川記念館 4F メモリアルホール

神戸市中央区吾妻通 5-2-20

事務局：電話：078-221-3627

E-mail：office@core100.net

参加費：500 円 (参加お申し込みは賀川記念館事務局まで)